

松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
令和4年度自己点検・評価及び学校関係者評価票

令和4年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
<p>評価項目① 学校の教育理念が教職員及び学生に周知され, 社会に公表されているか。</p>	<p>① 現状説明 「社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する自主創造型歯科衛生士を養成しようとする精神」を教育理念として定めている。教職員及び学生に対しては学修便覧で周知を図るとともに, 学生に対してはガイダンスを通じた周知を図っている。社会に対しては, ホームページにより公表している。</p> <p>② 長所・特色 口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤に専門的知識や技術を修得し, 日本大学の教育理念「自主創造」を踏まえ, 自ら考え, 自ら学び, 自ら道を開拓し, 社会貢献できる全人的な歯科衛生士の養成に努めている。また, 国家資格取得に直結する実践的な教育を展開している。</p> <p>③ 問題点 教育理念は平成27年に策定されて以降, 二度の改正があったが, 直近の改正から5年を経ている。必要に応じて見直しを検討する時期がきている。</p> <p>④ 全体のまとめ 教育理念に基づく歯科衛生士を養成するという特性をとらえ, 進むべき方向が明確に示されている。 その方向性は, 学修便覧やホームページを通して, 教職員及び学生に周知され, 社会に対しても公表されている。</p>	A	<p>・「社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する自主創造型歯科衛生士を養成しようとする精神」の教育理念は, 学修便覧やガイダンスを通じて教職員・学生に十分周知され, ホームページには歯科衛生士の役割, 社会的貢献が公表されている。</p>	<p>・歯科衛生士としての技術を教育することはもちろんだが, 教育理念は, 歯科衛生士の仕事に対するの基本となる考え方, 人生においてもとても大切な理念である。 ・ホームページは誰もが閲覧でき, 学校がどのような歯科衛生士を養成するかという目標を確認できることは, 重要なことである。</p>	<p>・教育理念はとても大切な精神であり, ガイダンス以外でも, 常に学生へ語り掛けてほしい。 また, 教育理念の見直しは, 今後の社会環境や時代の変化に応じた適切な対応を希望する。</p>	<p>・近年のコロナ禍の影響, 社会的状況により口腔の健康が全身の健康に影響することが社会認知され始めてい今だからこそマスメディアでの告知, イベント等の地域社会交流, 中学高校卒業後の進路ガイダンス等の積極的な広報で, 歯科衛生士の魅力や必要性について, 社会で認知されることをお願いしたい。</p>	A

<p>評価項目② シラバスに基づいて授業が展開されているか。</p>	<p>① 現状説明 シラバスには、授業ごとに「一般目標」、「行動目標」、「準備学修」、「学修方略」が明示されており、学生が予習・復習も含め授業に取り組みやすいよう構成されている。 各授業担当者は、科目責任者が作成したシラバスに基づいて授業を行っている。</p> <p>② 長所・特色 授業の日程、回数ごとの授業内容が明示されており、シラバスに基づいて計画的・体系的な授業が展開されている。シラバスはホームページ上に公開されており、必要な時はいつでも閲覧できる。</p> <p>③ 問題点 特になし。</p> <p>④ 全体のまとめ 上記のとおり、シラバスに基づく対面授業が展開されている。コロナ禍の状況下にあっては、学生が罹患する、あるいは濃厚接触者となるなどにより対面授業が実施できない事態も発生した。その場合は遠隔授業に切り替え、授業をインターネット経由でライブ配信し、併せてその授業を録画して後日視聴できるよう設定することで、シラバスに記載されたスケジュールどおりに授業を進めている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況下でハイブリッド型の授業形態になり、シラバスに記載されたスケジュールどおりに授業を進める教職員の方々には学生の保護者として感謝しかない。 ・シラバスはペーパーレス化し、ホームページ上で閲覧できる。科目責任者が作成したシラバスを基に、各授業担当者が授業をする。このシラバスで、学生は予習、復習の手助けとなっている。学生はスマホで気軽に確認でき、授業の趣旨が分かり、迷いのない授業となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科目責任者がシラバスを作成している。 ・コロナ禍で対面授業ができない学生のために、インターネット経由でライブ配信をし、録画をして、後日視聴できる仕組み作りになっている。学生にとっても同じ内容の授業が受けられ、授業が滞らない利点がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で毎年創意工夫をされ、効率が良い運営になっているが、学生のために更なる努力を続けてほしい。 ・インターネット経由の授業は、顔の見えない授業となるので、学生のフォローをお願いしたい。 	特になし。	A
<p>評価項目③ 学業成績不振の学生への支援策を講じているか。</p>	<p>① 現状説明 成績不振者に対しては、前期試験又は後期試験の成績確定後、保護者を交えて学生、担任による三者面談を行っている。 また、平常試験において成績の芳しくない学生に対しては、クラス担任が面談を行っている。</p> <p>② 長所・特色 成績不振者に加えて、欠席の多い学生に対しても必要に応じて担任が面談を行っている。 また、学生支援室を設け、臨床心理士の</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生方の丁寧な学生指導により、学生の日々の学修意欲の向上・維持や成績不振の学生、欠席日数の多い学生及び学生の精神面の対応・支援されていることにも感謝しかない。その結果が留年率1%未満、国家試験合格率100%の実績だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ利用者はいないが、必要に応じて学部の学生支援室の活用も視野に入れている。保健室から入れる仕組みになっていて、精神科の医師の面談も受けられる。 ・附属校の強みを生かして、学部と同様のサポートを受けられることは、学生にとって心強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者が出ないように、更なる早期フォローをお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績不振の学生や自主的学修を希望する学生に補習等の対応・支援をすることにより、進級率100%も期待している。 	A

	<p>資格を有する専門のカウンセラーが学生の様々な相談に対応できる体制を整え、精神的なサポートも行っている。</p> <p>③ 問題点 特になし。</p> <p>④ 全体のまとめ 担任を中心に丁寧な学生指導を行うことで、学生の学修意欲を維持・向上させている。また、成績不振者には、三者面談を行うことで、学年末になって保護者が初めて子供の成績不振を知るようなことがないよう対応している。 昨年度と一昨年度は、いずれも留年率が1%を下回っており、適切な学修支援がなされていると考えられる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学業成績不振の学生に対してのフォロー体制が充実している。 ・平常試験から成績不振者を早期発見し、クラス担任の面談が行われている。 				
<p>評価項目④ 学生の進路支援は適切に行われているか。</p>	<p>① 現状説明 令和3年度は国家試験の合格率100%を達成し、それ以前についても100%に近い合格実績を残している。そして、合格者のほぼ全員が歯科衛生士としての業務に就いている。</p> <p>② 長所・特色 大学附属の歯科衛生専門学校であり、歯科衛生士資格を有する専任教員に加え、歯科医師である教員による専門的な教育、進路支援がなされており、高い就職実績を有している。</p> <p>③ 問題点 残念ながら、入学後に志望進路を変更し退学する者が僅かながら存在する。ガイダンスや個別面談を通じた丁寧な進路指導を行うことで、歯科衛生士の将来性や魅力について学生の理解を促し、退学者の消失につなげたい。</p> <p>④ 全体のまとめ もとより本校を志願する時点で将来の目標、やる気、基礎学力を有する学生が多</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の業務として高い就職実績は、教職員の先生方の進路支援のおかげだと思う。 ・学生の進路支援について、歯科衛生士資格を有する専任教員が担任となり、細やかに学生のフォローをし、歯科医師である教員が専門的な教育、進路支援をしている。例年、国家試験合格率100%に近い合格実績とほぼ全員が歯科衛生士の業務に就いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員がきめ細やかに学生をフォローすることは、松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の伝統である。大学の附属であるという特徴を生かした教育や支援があるので、就職率も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のフォローを継続し、留年率、退学率0%、国家試験100%を目標に支援をお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科業界だけでなく、他の業種からの要望により、今後も歯科衛生士の業務は多種多様になっていくと思う。そのため、より広範囲で高度な専門性を必要とする知識・技術の修得が求められる歯科衛生士の育成・進路支援をお願いしたい。 	A

(様式2)

	<p>く、入学後も高い学修意欲を維持・継続している。このため、休学者や退学者は少なく、歯科衛生士国家試験の合格率も、その後の就職実績も高い水準を維持している。今後も、留年率及び退学率は0%、国家試験合格率は100%を目標に学生の支援を行っていく予定である。</p>						
--	--	--	--	--	--	--	--